

昭和 43 年 11 月 1 日

発行所  
山武郡横芝町横芝 636 番地  
横芝町役場  
電話 04798-2-1111(代)  
郵便番号 289-17

# 横芝

広報

## 横芝町の人口と世帯

< 9月30日 現在 >

常住人口 11,839 人  
男 5,575 人  
女 6,264 人  
世帯数 2,790 戸

## // 火事の恐ろしさを 知っていますか //

26 日から全国火災予防週間

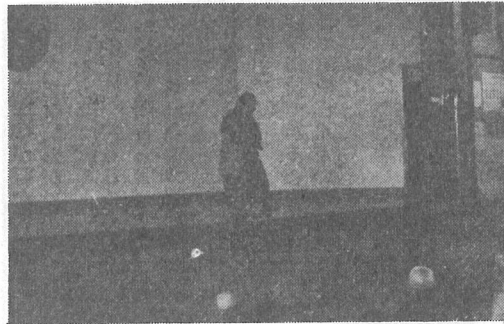
いよいよ本格的な冬に入り  
ます。空気がたいへん乾燥す  
ると同時に、火気をつかう機  
会が多くなって、火災発生が  
増える季節です。今年も  
十一月二十六日から一週間全  
国的に秋の火災予防運動が実  
施されます。  
火事はすべてを灰にしてし  
まう、恐ろしい災害であるこ  
とは誰でも知っていること  
ですが、火気の取扱いは案外  
注意を怠りがちです。  
最近石油やプロパンガス  
が普及して、炊事から暖房ま  
で殆どどの家庭で使っていま  
す。

- 石油やガスボンベの置き場  
所の選定
- コンロやストーブの故障、  
ガス導管の破損の有無点検
- 寝る前に元栓を閉めるなど  
安全確認
- などを常に心がけましょう。
- また、たばこの不始末も大  
きな火災原因の一つ。
- 吸いがらの投げ捨て禁止
- 寝たばこの防止
- 厳格に守りましょう。
- このほか、戸外でのたき火  
も多くあります。残り火は徹  
底的に消して置きましょう。
- また子供の火遊びは絶対にさ  
せないように注意しましよ  
う。

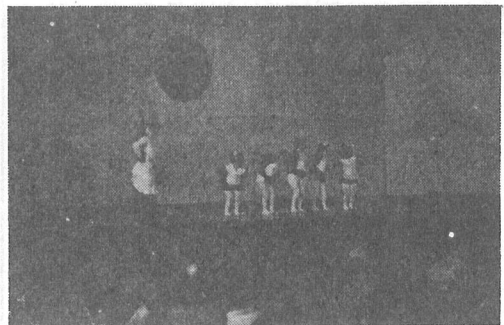
て行きました。  
中食は簡素な折詰めではあ  
りましたが、婦人会員の行届  
いた温かい心づかいによる接  
待で、花見遊山とはまた異つ  
た気分です。舌つみを打ち、或  
は普段あまり逢えないはなれ  
た地区のお知りあいと、久方  
ぶりの話に花が咲いて、これ  
また別の楽しみでもあったよ  
うでした。  
続いて進められるプログラ  
ムにいよいよ感興は高潮し、  
わが家の孫さん、お隣のかあ  
ちゃんの、毎日見なれた立ち  
居とはまた変った舞台姿に驚  
ろいたり感心したり、拍手と  
ドヨメキが館内を揺がし、お  
年寄たちは相好をくずして喜  
び楽しんでいました。  
お年寄のうちに芸達者の  
幾人かはジツとしていられ  
ず、舞台にかけ上って自慢の  
唄や踊りを披露して大かっさ  
いを拍っていました。  
こうして時のたつのも忘れ  
て一日の慰安を満喫し、尽き  
ない興奮と楽しみに名残りを  
惜しみつつ午後三時すぎ散会  
しました。  
なお今年県知事と県社福協  
議会長の紅梅白梅の色紙が贈  
られた金婚夫妻は次の十八組  
でした。

## お年寄も余興にとび入 盛会だった敬老会

七十才以  
上の高令者  
七二人を  
招待しての  
恒例の敬老  
会は十月十  
二日横芝中  
学校体育館  
で開催され  
ました。  
この朝、  
差し廻しの  
バスに迎え  
られて、三  
地区のお年  
より達は一  
年一度のこ  
の日を、ハズむ気持で統々と  
会場に到着、定刻までには四  
百人に余る数で、さしにも広  
い体育館も満員の盛況でし  
た。



大漁節をおどるおばあさん



童謡をおどる保育所児童

主催者代表横芝町社会福祉  
協議会長の挨拶で開会、八十  
五才以上者にお祝品、金婚夫  
妻に記念色紙の贈呈、来賓の  
祝辞、高令者代表の謝辞など  
あって式を終り、いよいよ本  
織りまぜてつぎ次に披露され  
る。

木戸台 佐久間元夫 カツ  
中台 伊藤 佐重 知  
" 伊藤 融次 とよ  
牛熊 土屋 煮一 かつ  
長倉 吉川 泰蔵 里宇  
" 伊藤 文雄 もと  
曾根合 富 守 あさ  
上町三 加瀬 勲 きち  
" 一 伊藤源之助 ミチ  
鳥喰上 行木 高吉 コウ  
" 越川 右京 きみ  
" 宇井 一 せい  
鳥喰新田 宇井 儀慶 はる  
鳥喰下 押尾 庄 トミ  
" 市原 誠一 とみ  
南 浅野 浩 たか  
西 鈴木栄之助 ふぞ  
南川岸 伊藤 仙蔵 ステ  
また、町社福協からの祝  
品の座布団が贈られた高令者  
は、八十九才の姥山の土屋  
ちさん、牛熊の杉本そのさ  
さん、老人ホームの吉原しげさ  
んの三人を初め、米寿の三  
人、八十七才十七人、八十六  
才十五人八十五才五人の計四  
十三人でした。